

氏 名 古田 賢司
学位の種類 博士(医学)
学位記番号 乙第244号
学位授与年月日 平成18年9月6日
審査委員 主査 教授 山口 修平
副査 教授 紫藤 治
副査 教授 竹下 治男

論文審査の結果の要旨

H2受容体拮抗薬(H2RA)の連続投与で酸分泌抑制効果が減弱するtolerance現象が、*Helicobacter pylori*(以下HP)感染陰性者のみで認められることが明らかとなっている。本研究は、胃食道逆流症(GERD)患者におけるH2RA投与の食道内酸性化抑制効果および自覚症状改善効果に対するtolerance現象の影響について検討したものである。対象は、男性のGERD患者10例(HP陽性者3例と陰性者7例)。投薬前及びファモチジン(以下FAM)40mg/日投与の1日目と15日目に24時間食道内・胃内pHモニタリング検査を施行した。HP陰性者では、FAMの2週間連続投与により胃酸分泌抑制効果減弱と食道内酸性化抑制効果減弱を認め、自覚症状も1日目に比して15日目に増悪を認めた。一方HP陽性者では、2週間連続投与によるこれらの効果減弱を認めなかった。

本研究は、HP陰性者におけるH2RAのtolerance現象がGERD患者における食道内酸性抑制効果および自覚症状改善効果に影響していることを明らかにしたもので、GERD患者の治療指針に重要な知見をみいだしたと考えられ、博士(医学)の学位授与に値するものと判断した。